

新年度にあたり

取締役 営業本部長

江波戸 利幸



日頃より弊社製品をご愛顧頂き、心より御礼申し上げます。
新年度を迎え、4月に開催されますFABEXを中心にご報告申し上げます。

この「DPニュース4月号」が皆様のお手元に届く頃には、新元号も発表となり、例年になく新しい気持ちの4月になっていることと思います。また、4月末からの10連休を目前に控えた時期にもあたると思います。今回の連休は、これまでにない長期となるため、これから連休に向けての物流環境は、ますます厳しいものになると予想されます。弊社と致しましては、スムーズな受注、納品に向け、出来るだけ対応致したいと考えておりますが、昨今の物流事情のため、ご要望にお応えできない状況がおきる可能性もございます。お取引先の皆様には、早めの受注など是非ご協力を賜りたく、宜しく願い申し上げます。

さて、昨年度を振り返ると、上期は製品価格の改定、下期は環境への関心が急速に高まった一年であったと思えます。弊社でも環境対応製品を少しでも早くご提案できるように、開発のスピードを加速させた一年でもありました。

この様な中、弊社では4月17日～19日、東京ビッグサイトで開催される「中食・外食業界の業務用専門展FABEX2019」に、『環境の時代へ』をテーマに出展致します。今年で7年連続の出展となります。

ご存知の様にプラスチックの原料である石油などの資源の枯渇や、排出されたごみが問題になっており、政府からは、3R(リデュース、リユース、リサイクル)+Renewable(持続可能な資源)の基本原則が示されました。弊社が開発中の製品は、この基本原則に沿い、バイオプラスチックを使用した容器、プラスチック使用量を減らす事ができる素材の容器など、これまでデンカグループ並びに弊社で開発してき

た環境対応素材を使用した開発製品を展示する予定です。
また、これら開発製品に負けず、既存製品の内容も一層充実させています。

その一つが、昨年のFABEXでもご紹介致しました冷麺容器「TPライトボール」です。冷麺容器は、A-PET製がほとんどですが、弊社は耐油性に優れたPS素材ユーガードを使用しています。このユーガードは腰強度があるため、A-PETに比べて比重が軽く、厚みも薄くでき、軽量化＝「リデュース」が可能な素材です。今年は、本体、中皿の新型を追加し、様々なメニューへのご使用が可能になりました。また、PS素材はきれいに印刷する事が可能です。この素材の特徴を生かし、本体に色鮮やかなピッチ柄を印刷した製品もラインナップ致しました。高級感のあるメニューや、差別化されたメニューに、是非「TPライトボール」印刷品をご検討頂きたく、宜しく願い申し上げます。

もう一つがレーザー加工技術を利用した製品です。惣菜容器「夢デリ」は、その優れた内嵌合性と柄、サイズバリエーションから多くの引き合いを頂いておりますが、今年は、レーザー加工技術を組み合わせ、バックヤードでの作業性を改善する事が可能な「夢デリ」を展示致します。是非、「夢デリ」の作業性の良さを展示会場で実感して頂きたいと思えます。4月17日～19日で開催されるFABEXの会場で皆様とお会いできることを心より願っております。どうぞ宜しく願い申し上げます。

最後になりますが、お取引先様のご指導、ご鞭撻を賜りながら、皆様から愛され信頼されるデンカポリマーを目指し、邁進する所存でございます。これまで通り変わらぬご愛顧を宜しく願い申し上げます。